

(様式 1 - 3)

広野町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 27 年 12 月時点

※本様式は 1 - 2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	25	事業名	都市防災推進事業（防災備蓄倉庫整備）	事業番号	D-20-2
交付団体		広野町	事業実施主体（直接/間接）	広野町（直接）	
総交付対象事業費		134,426（千円）	全体事業費	134,426（千円）	
事業概要					
<p>■防災備蓄倉庫新築工事</p> <p>敷地面積 A=1,075.29 m²</p> <p>延床面積 A=587.97 m²</p> <p>（「広野町復興計画（第一次素案）」の 21 ページ「(2) 町民生活復興のための施策 ②災害に強いまちの復興」、「(2) 町民生活復興のための施策 ④地域コミュニティ・絆の復興 ⑤新たな防災体制の確立」を参照）</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 26 年度></p> <p>防災備蓄倉庫の実施設計・地質調査</p> <p><平成 27 年度></p> <p>防災備蓄倉庫の建築工事</p> <p>建築概要 鉄骨造平屋（延床面積 587.97 m²）</p>					
東日本大震災の被害との関係					
<p>これまで、町内に災害に備えた備蓄倉庫は整備されていなかったため、震災発生時、住民への早急な水・食料等の支援が実施できず、また、町外からの救援物資の受け取りまで時間を要した。</p> <p>今次災害にあっては、保管施設が町内に存在しなかったため、応急的に広野小学校教室や町築地ヶ丘体育館に物資を集め、現在まで保管していることから、本来の使用目的である「生徒、地域住民による体育館の使用」ができない状況が続いている。</p> <p>これらの状況を踏まえ、「広野町復興計画（第二次）や広野町地域防災計画」において、適切な物資の搬入・搬出や管理の観点から、役場等公共施設が集約し、幹線道路にも近接するエリアを「防災拠点ゾーン」と位置付け、同ゾーンに防災備蓄倉庫の整備を図ることとする。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	